10/10~22 *Hirado City Photo News*

異文化交流で国際的な視野を！

オランダ王国ノールトワイケルハウト市レーウェンホルスト中高学校の生徒12人が、平成23年から続く姉妹都市交流事業の一環として本市を訪れました。

12人は、それぞれパートナーの家庭へホームステイしながら、市内の３つの高校へ通学し、日本の文化や学校の授業を体験しました。授業では習字や、剣道など日本特有の授業もあり、初めての体験に楽しんで取り組んでいました。

来年の３月には、今回ホームステイ先として受け入れた生徒がオランダを訪問します。

10/21 *Hirado City Photo News*

火災発生！機敏な動きで初期消火

市消防本部で「第23回初期消火操法競技大会」が開催されました。

市内の病院や福祉施設、保育所などから消火器の部30チーム、屋内消火栓の部12チームが出場。緊迫した雰囲気の中で、選手たちは消防への通報や避難の呼びかけ、消火などを機敏な動作で行い、日頃の訓練の成果を発揮しました。

結果は次のとおりです（1位のみ）。【消火器の部】女子の部：柿添病院、男子の部：北松北部環境組合【屋内消火栓の部】女子の部：東和愛児園、男子の部：平戸荘

10/20 *Hirado City Photo News*

地元の魚を調理しました！

中野中学校で「水産教室」（県北地区漁業士会・平戸市漁青連共催）が開催され、１・２年生の生徒14人が参加しました。

この水産教室は、地元の魚を使った調理体験を通じて魚食普及を図るために開催したもので、県北地区漁業士会の皆さんが地元の魚の紹介した後、「シイラ」や「ハマチ」のさばき方を披露し、生徒の皆さんは興味津々に見ていました。

その後生徒全員で、アジの三枚おろしに挑戦し、アジのパン粉焼きと魚の刺身をみんなでおいしくいただきました。

11/1 *Hirado City Photo News*

平戸のキリシタンの歴史を学ぶ

生月町開発総合センターで、島の館開館20周年記念事業として国際フォーラム「キリシタンの世紀と世界遺産」が開催されました。

リスボン大学のカステルブランコ准教授が、リスボンと長崎の景観の共通点について講演。ディスカッションでは、リスボン新大学のコスタ教授が、生月島の領主・籠手田安経（こてだやすつね）は有力武将が入信・一斉改宗を行った最初の事例と評価し、東大史料編纂所の岡美穂子助教と島の館の中園学芸員は、外海と生月島のキリシタン信仰の特徴を紹介。最後は山田の唄オラショが披露されました。

10/25 *Hirado City Photo News*

秋ならではの収穫体験

平戸瀬戸市場いも農園で「親子でいも掘り体験学習」（平戸瀬戸市場主催）が開催されました。この体験は、子どもたちが自然、そして農業、また、普段何気なく食べている食材への興味・関心を抱くきっかけづくりとして今年初めて行われました。

参加した田平の３つの小学校の児童たちは、自前のスコップで土を掘り、大きな芋が取れると満面の笑みを見せていました。

この農園では、11月の土・日も一般に開放し、親子連れなど多くの来場者が訪れ、秋限定の収穫体験を楽しみました。

11/2 *Hirado City Photo News*

動物とふれあい食を学ぶ

田平東小学校で、「命をいただくということ」をテーマに、食育ワークショップが開催されました。

今回は、北松農業高等高校の動物科学部の生徒と平戸食育ワークショップチームが協力して、学校で飼育している動物を田平東小学校のグラウンドに連れてきて、移動動物園を開催し、児童たちと動物のふれあいを通じて、命の大切さや食に対しての感謝の気持ちを学んでもらおうと企画、実施しました。動物とのふれあいの後は、プロの料理人の指導のもと、自分たちで食材を調理し、本格的な料理法なども学んでいました。

11/2 *Hirado City Photo News*

いつまでもお元気で　祝100歳

田平町の小川ミユキさんが100歳のお誕生日を迎えられ、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

ミユキさんは、若いころからご主人と一緒に農業をされ、息子１人娘５人の６人のお子さんに恵まれました。その後も90歳になるまで農業を続け、現在はデイサービスでご友人とお話やゲームをしながら楽しく過ごしています。

お祝い式ではご家族に囲まれ、「本日は雨の中ありがとうございました」と感謝の言葉を述べられました。

10/24.25 *Hirado City Photo News*

晴天に恵まれくんちも大盛況！

中心市街地一帯で、「平戸くんち城下秋まつり」が開催されました。

今年も平戸くんちと同日開催となり、会場内でもご神幸やジャ踊り、獅子舞が披露され、訪れた皆さんは、立ち止まって声援を送っていました。

商店街には市内の53店が出店したほか、本市と交流のある都市の物産市も開催され、来場者は秋まつりのチケットを片手に商店街を練歩き、平戸グルメの食べ歩きや特産品などの買い物を楽しみました。

11/7 *Hirado City Photo News*

流暢なスピーチに感動！

平戸市ふれあいセンターゆめホールで、「第３回平戸市中学生英語スピーチ大会」が開催されました。

この大会は、本市の中学生の英語力の向上を図る機会にすることと、国際化の中で平戸の将来を担う子どもの育成を目指すことを目的に市内中学校から22人が参加しました。

受賞者は次の通りです。【最優秀賞】平戸中３年瀧下莉緒さん【優秀賞】平戸中３年北村渚紗さん、度島中２年古川夢乃さん。瀧下さんには、２月に開催される県大会への出場権が与えられます。

11/3 *Hirado City Photo News*

オルレの本場韓国からも参加

九州オルレ平戸コースで「2015秋九州オルレフェア」が開催されました。

当日は、福岡・平戸間を臨時運航するビートルの寄港に合わせて行われ、乗船してきた参加者とともに、韓国からも約60人の参加があり、合計150人ほどの参加者が、秋空の平戸コースを散策しました。異国情緒溢れる平戸の歴史的街並みやススキなどの自然が残る景観を眺めながら歩き、休憩地点でのうちわえびの味噌汁や、平戸スイーツのふるまいなど平戸特産の食のおもてなしを堪能でき、満足していました。

11/11 *Hirado City Photo News*

テニスを通して国際交流！

平戸テニスクラブ（谷原茂会長）がアメリカコロラド州デンバーから22人の旅行者を受け入れました。

谷原会長が７年前に１度受け入れたのがきっかけで、先方から「今回もぜひ平戸城が見えるコートでテニスがしたい」との要望があり、７年越しに受け入れが実現しました。

この日は、亀岡のテニス場で平戸テニスクラブのメンバーとテニスを通して交流を深めました。会場には、臨時に茶会も設けられ、初めての茶道体験を楽しんでいました。

11/9 *Hirado City Photo News*

読書の秋を満喫しよう！

平戸市ふれあいセンターゆめホールで、「作家さんたちとあそぼう！」（ヒラドビックフューチャーズ主催）が絵本作家の飯野和好さん、直木賞作家の江國香織さんを迎え開催されました。

２人は対談を通して、子どもの頃の話から、本に出会ったきっかけ、本の魅力などユーモアたっぷりに話しました。最後には飯野さん、江國さんがそれぞれ自身の絵本や本を朗読し、飯野さんは、三味線の音に合わせて面白おかしく絵本を読み、会場に集まった約100人のお客さんを楽しませていました。

11/12 *Hirado City Photo News*

映画「あなたへ」ゆかりの地で

薄香港フェリー待合所で、映画俳優「故高倉健」さんの一周忌にあわせて「高倉健さんをしのぶ会」が開催されました。

会では、平戸観光協会の藤澤会長や市長などからの感謝の言葉をはじめ参列者による献花が行われ、最後は映画「あなたへ」で高倉さん演じる主人公が妻の散骨をするために、使用した船「そよかぜ」に乗って、市長らが海に献花しました。また、高倉健さんゆかりの品の展示や、１日限定で、映画「あなたへ」で設定された濱崎食堂のメニューを再現した弁当の販売も行われました。

11/11 *Hirado City Photo News*

故松本画伯の作品をふるさとに

平戸市未来創造館COLAS平戸で、本市出身の画家「故松本孝之さん」の絵画の贈呈式が行われました。松本さんは、長崎県や東京都で教員として従事した後、昭和48年から画業に専念し、平成6年には、紺綬褒章を受章されました。また、国内はもとよりベルギー、フランスなど海外でも数々の賞を受賞されています。

今回、妻マツエさんから市長に絵画が贈呈され、「大好きなふるさと平戸に自分の絵を展示させてもらえて、主人も天国で喜んでいることでしょう」と話されていました。

11/8 *Hirado City Photo News*

大島村が盛り上がった１日

大島村離島開発総合センター前広場で、「第31回大島村ふるさとまつり」が開催されました。

ステージでは、園児によるおゆうぎや小・中学生による合唱の披露、福岡県田川郡赤村の赤村・我鹿（あが）太鼓の総勢21人による勇壮な太鼓などが披露され、訪れた400人の観客の皆さんは、大きな拍手を送っていました。

この他に、大島村文化祭、平戸市美術展覧会、や国選定重要伝統的建造物群保存地区「神浦の町並み」を巡るツアーも開催され、多くの人が大島村の魅力を満喫していました。

11/14 *Hirado City Photo News*

平戸の旬の食材が勢揃い

平戸瀬戸市場前広場で、「平戸瀬戸市場秋の収穫祭」が開催されました。

毎年、農産物などの収穫時期にあわせて行われているこのイベントは、平戸瀬戸市場のそれぞれの部会から、今年取れた平戸産の食材などを使った品物を、店頭で販売しています。

この日は、小雨がぱらつく天候でしたが、お昼時になると、買い物や昼食に訪れた人たちも、焼きそばや、イカ焼き、いもスティックなどの香りに足を止めて、試食をしたり購入したりと楽しんでいました。

11/13 *Hirado City Photo News*

たくさんの「命」をありがとう

平戸幼稚園で農業・漁業体験、親子ふれ合い体験活動の一環として「ひらどっ子おいしいものまつり」（平戸市漁青連、JA平戸・生月地区女性部共催）が開催されました。

園児たちは、新鮮な魚をさばく様子を見ながら「お魚さんがかわいそう」「命があるのに」と素直な気持ちを口にしていました。調理実習ではエソのすり身を使ったちくわや、平戸産の野菜と混ぜたかまぼこなど、平戸産の食材を使った昼食を作って食べることを通して、命をいただいていることを知り、感謝の心を持つ大切さを学びました。

11/14 *Hirado City Photo News*

音楽を通じて青少年を育成

平戸文化センターで「平戸市青少年音楽会」が開催されました。

当日は、市内の小学校から高校まで11組の児童、生徒による合唱や演奏などの発表が行われ、子どもたちの熱のこもった演奏は、日ごろ音楽に触れる機会がない人たちの心にも、響くほどの音色を奏でていました。

また、スペシャル金管打楽器アンサンブル（OMURA室内合奏団）によるメドレーが行われ、集まった約900人の観客は、プロの合奏団が演奏するハーモニーに聴き入っていました。

11/14 *Hirado City Photo News*

本に親しみ自己表現を磨く

平戸市ふれあいセンターで「平戸市児童読書感想発表大会」が開催されました。

この大会は、子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、習慣化を図り、併せてより深く読書しその感動を自分の言葉で文章にして表現するということを目的に実施しています。今回の受賞者は次のとおり。【最優秀賞のみ】松永璃星羅さん（田平東小１年）大坂屋陽菜さん（田助小２年）松尾紗梨さん（平戸小３年）平松幹将さん（堤小４年）伊藤叶優さん（平戸小５年）山西美空さん（田助小６年）

11/18 *Hirado City Photo News*

大好きな平戸のために頑張って！

愛の園保育所の年長児22人が、勤労感謝の日を前に市役所を訪れ、市長を表敬訪問しました。

園児の代表が「いつも大好きな平戸のために仕事をしてくださってありがとうございます。これからも頑張ってください」と述べました。その後、園児みんなで作成した手作りの感謝状やカレンダー、市長の似顔絵をプレゼントしました。これに対し市長は「毎年ありがとうございます。いただいたものは、大事に市長室に飾ります。私も精一杯頑張るので、皆さんも頑張ってくださいね」と感謝の言葉を送りました。

11/16 *Hirado City Photo News*

税について考えました

平戸市未来創造館で平成27年度「税に関する作文」表彰式が開催されました。

国税庁が募集した「高校生の税に関する作文」（平戸税務署管内582点）と国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が募集した「中学生の税についての作文」（平戸税務署管内736点）の応募の中から、高校生4人、中学生7人が選ばれ、各賞の表彰が行われました。

受賞者の作品は、12月上旬に市役所本庁をはじめ、各支所および平戸税務署などで展示予定です。